

学生図書委員だより

発行 二〇〇九年六月
編集 学生図書委員

No.6

『雨降りだからミステリーでも勉強しよう』とは、植草甚一の著作タイトル。どこか素直じゃなくて、でも小洒落れていてカッコイイ！ そう、雨の日にはミステリーがよく似合うのです。

特集・雨降りだからミステリーでも勉強しよう

トップバッターは米澤穂信。

木草平 シリーズを。ハードボクサーが効いている一作です。

さらっとした口当たりながら、

イルド風味でわりと人間関係もつと派手な、『名探偵コナン』

下味はしつかりついた 古典部

のどろどろした部分を扱って『みたいなのがいいんだよ』

シリーズがおすすぬ。淡々とし

いるのに、読後にはなんとも言〜、という方は、「新本格」と

た筆致で描く高校生活と、抜群

えないさわやかさと甘酸っぱい検索してみてください。ずらず

の論理性が見事に溶け合った青

さが残るといふ、不思議なシリーズ作家名が出てきますから

春ミステリです。ミステリーっ

ーズです。最後を締めるのは若竹七海

てうさん臭い、と敬遠している

行人(『十角館の殺人』)と有栖川有栖(『月光ゲーム』より) 4

人は、このシリーズを是非手に

取ってみてください。シリーズ『6番目の密室』が

第一作は『氷菓』。

クランブル』を。十五年前、大双壁でしょうか。あつと驚くミ

続いては樋口有介。この作家

きすぎる虚栄心を持って余し、生ステリーが好き、という人は気

は今復刊ラッシュで嬉しいかぎ

きるのが煩雑すぎた高校時代。に入るんじゃないかな。

りなのですが、中でも『彼女は

そこで起こった事件。ほろ苦いいつか海外ミステリーもこ

たぶん魔法を使う』からなる 柚

だけでない、青春の持つ辛さ紹介するので、よろしく！

Shall we study mysteries on a rainy day?

Shall we study mysteries on a rainy day?

足跡塾第五回 森見登美彦の巻

独特の「笑い」で人気を博す森見登美彦に似ている作家というの、なかなか難しいです。下品にもブラックにもならない笑いの書き手というのは、なかなか貴重なんですよ。

えーい、ここは思い切って内田百閒を挙げちゃえっ。ちょっと時代が前の人なのですが(何しろ漱石の弟子なので)、森見氏が影響を受けたと公言しているだけあって、その面白さはバツグン。へんてこな理由で銀行強盗を妄想したりする『百鬼園随筆』(新潮社文庫版のカバーイラストは、なんと芥川龍之介!)や、何の用もないのに借金をして鉄道旅行へ行く『阿房列車』シリーズもいい(同じくしかめっ面の百閒が表紙の、新潮社文庫版がオススメ)。とにかくワガママでへそ曲がりな人なのですが、どこにも憎めないかわいさが魅力なのです(笑)。ちなみに小説のほうは、現実と夢の境界があやふやな、不可思議とも不条理ともとれる短編が中心。小説のほうが通好みかも。

同じく百閒の影響を受けたと言っている作家に、川上弘美がいます。確かに淡々とした筆致とユーモアで通ずるところがあるので、気になる人はこちらも読み比べてみてね。



chase
after
rainbows

大つかみ出版社マップ 集英社

集英社が太宰治の『人間失格』を『DEATH NOTE』の小畑健の絵で装丁したのは、文庫のみならず文芸界の一大革命でした。賛否両論は多数あったようですが、その大胆な発想は装丁界にかなりの影響を与えた模様。

ただいまはジュール・ヴェルヌの作品をヤングジャンプの漫画家がカバーしているそうです。なかなか渋いので、一見の価値あり。ちなみにヴェルヌとは、『十五少年漂流記』や『海底二万里』を書いた人ですよ。